

わがまち

まじな

発行 委員会  
事務局 馬込特別出張所  
大田区中馬込3-25-5  
☎ (3774) 330149



ここにあった  
東洋通信機株式  
会社長原研究  
所では、戦時  
中、陸海軍の  
軍需工場とし

大田区史には、「夫婦坂由来」として『馬込村と池上村の境に「夫婦坂」と呼ばれている所がある。道の両側に二つの山があり、夫婦のようだからと言った。また、そこは以前、よく狐に化かされた場所で、そこを通る人が「みよんだ、みよんだ」と言ったのが、「みよんど」「めおと」になったのだという。』とも書かれています。昔の夫婦坂が山の間を通る急な坂道で大変さびしい所だったことがしのばれます。

# 夫婦坂

馬込の坂シリーズ (2)

大木の坂  
むつまじき  
夫婦坂



夫婦坂です。夫婦坂は上池台四丁目2番と中馬込一丁目1番の境から坂を下り、環状七号線をはさんで、北馬込一丁目12番と13番の間を上る坂道です。坂の南側、つまり中馬込一丁目側の坂が大きく、北馬込一丁目側の坂が小さい坂です。この大小の坂の向かい合う様子を夫婦にたとえて「夫婦坂」と呼ぶようになったと言われています。昭和の初めころの夫婦坂は、道はぼせまく、曲がった急な坂道で、まわりには竹やぶ、雑木林、植木畑などがあり、昼なお暗いさびしいところでした。



て、当時、無線機の心臓部であった「水晶発振子」を作っていました。当時ではNHKの標準電波用として、また時報の原点である馬込一丁目側の坂が大きく、北馬込一丁目側の坂が小さい坂です。この大小の坂の向かい合う様子を夫婦にたとえて「夫婦坂」と呼ぶようになったと言われています。昭和の初めころの夫婦坂は、道はぼせまく、曲がった急な坂道で、まわりには竹やぶ、雑木林、植木畑などがあり、昼なお暗いさびしいところでした。

おもしろいですね。中馬込側の夫婦坂バス停を少し下ると環七に出ます。環七の工事下ると昭和14年に始まりました。それ以前の環七は、赤土のいなか道で両側には小川が流れていました。この小川は内川に注ぎ、このあたりはドジョウ、ヤゴ、小ナ取りなど、子どもたちのよい遊び場でした。また、今のリコーの所は一面のすすきの草原でした。近くの浅間神社の森は、がけ上りやせみとり、どんぐり拾いなど、子どもたちの絶好の遊び場だったそうです。

な坂の上りがはじまります。小さな坂を上りきったところは、品川区旗の台です。昔は、この小坂の手前で東に迂回して品川道に通じていました。品川道は中原街道へ通ずる古い道でした。土地の人は「大井に出る道」とよんでいました。今のような道になったのは昭和10年代の事です。

## 馬込古物語

### 加藤家文書 (その二)

旧馬込村の名主、加藤家に残る「古文書」から……

#### ◆明治三年三月(一八七〇)布告

一、刑除之骸を刀で斬って、刀の利鈍を試すことは残酷な事であるので今後は敬禁する。  
一、人肝、靈天蓋、陰妻、などを薬として密売するむきがあるが、其功験無之事に付き敬禁し取締る

④ 元禄の頃から明治十四年まで死罪人の首を斬ったのは山田浅右衛門。武家から依頼された刀で切れ味を試した。  
明治三年までは死罪人の生胆から浅右衛門丸と称する薬を作り販

#### ◆明治四年四月

一、自今平民乗馬被差許候事  
④ 市中を馬で乗り廻すことは武士の特権であったが、これからは百姓・町人も馬の口取りがなくも乗ってよろしい。  
この時に散髪、魔刀自由との布告も出された。

#### ◆明治四年九月

一、日本丸に於て九日より昼十二字に大砲を一発つづつて時号砲とするので心得のため達候事  
④ 時報明治四年から昭和四年までは大砲で「ドン」  
今は夕方五時にチャイム

「大田区史(資料編)加藤家文書」より

## 馬込のお祭り

馬込の鎮守さまである八幡神社(南馬込五丁目)例大祭が今年も盛大に行われます。

11日一宵宮祭、12日一大祭  
その他の馬込のお宮、北野神社(南馬込二丁目)、熊野神社(南馬込四丁目)、西三稻荷神社(西馬込二丁目)でも、また各町会で、いろいろな催しが用意されています。

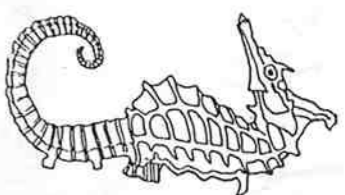
○第十回 区民スポーツまつり  
大田区民のスポーツ祭典として今年も10月10日(日)に大田区体育館で開催されます。恒例の地区対抗綱引きも行われます。馬込チームも優勝をめざして出場します。皆で応援に行きましょう。会場の大田区体育館(東蒲田一丁目11-1)は、京急梅屋敷駅から徒歩四、五分の第一京浜沿いにあります。

○馬込ふるさとめぐり  
青少年の主催の「馬込のふるさとめぐり」が10月24日(日)に馬込小学校を中心に行われる予定です。住んでいる地域の、歴史的な記念物の発見など、思いがけない楽しい散歩に、お子さんとともにお出かけください。(参加自由)

集合一馬込小、午前8時30分。出発一9時。約2時間の予定。お子さんたちには、帰ってから楽しい「子どもニガテン」が待っています。

「ふるさとめぐり」は今回で第五回めとなりますが、毎回大好評で、参加者も回を追うごとに増えてきました。皆様もぜひ!

## 馬込情報



# 川端龍子記念館

画伯自身の設計による

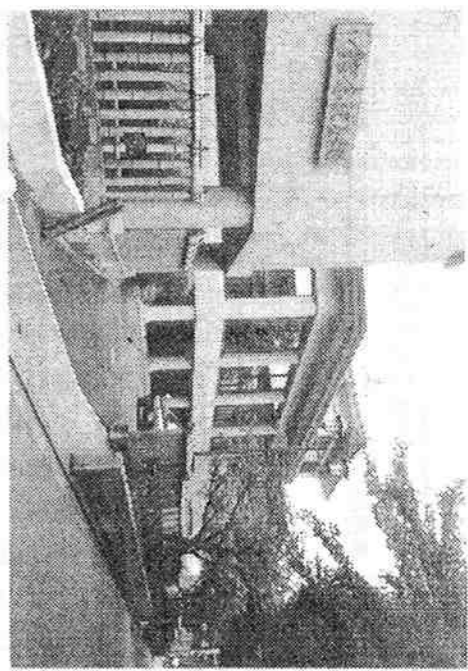
会場芸術主義を完成させた巨匠

龍子記念館は昭和38年川端龍子の発意と設計によって設立されました。

画伯は、和歌山市に生まれ、明治28年に上京し、明治42年24才の時、当時の荏原郡入新井村新井宿(現大田区山王三丁目)に移り住むようになりました。

本名を昇太郎とい、明治40年22才の時に第一回文展に入選し、翌年から龍子の号を用いるようになりました。洋画を描いていた画伯が、日本画に転向したのは大正3年29才の時からです。

大正9年に新井宿一〇五三(現南馬込四丁目)に画室と住宅を新築し、



築し「御形荘」と命名しました。

龍子の作品は、今までの日本画では使用されなかつた金泥で表現したり、展覧会場での展示を中心とした会場芸術(大作主義)構想となつたため「画面が大き過ぎる、上品を尊ぶ当時の院展(日展)」の気風に合わない、等の理由から批判されました。

その後昭和3年に院展を脱退し昭和4年44才の時に青龍社を創設しました。

昭和41年4月80才で亡くなるまで、第三回院展橋牛賞、朝日賞、文化勲章等を受賞しました。

また高齢になつても四国遍路、奥の細道行脚、坂東3ヶ所巡礼、取り組んでいました。

平成2年12月、青龍社の解散に伴つて記念館と所蔵作品等が、大田区に寄贈されました。

記念館は、空から見るとタツノオトシゴの形をした独創的な建築物で、常時室温は22度前後、湿度60パーセント前後に保たれています。やわらかい照明に、高い天井の館内には、夏季名作展の作品(「椰子の篝火」の大作を始め「怒る富士」等)十九点が展示され、題名説明書きが、味わいのある直筆で書かれています。

広々とした空間を利用して、画

伯愛用の眼鏡や画材、俳句をした

ためた短冊、明治44年に雑誌「少女の友」に描かれていた挿絵、また家族との写真から、祇園で楽しんでいる写真までがケースに陳列されています。

今年六月から見学できるようになつた画室は、龍子画伯が好んだ竹の塀に囲まれています。

画室は約60畳の板の間になつており、ダルマストープが置かれ、中央には数えきれないほどの顔料と皿が並べられ、画伯がつい先ほどまで利用していたのではないかと思われるほどのたたずまいを見せています。

部屋のすぐ隣に三畳の畳の部屋があります。

組んでいる時に体を休めるために使用していたところだそうです。

手入れのゆき届いた庭園には、夏の日ざしをさえ切るように、けやき、こぶし、ほおの樹々の葉が生い茂つており、しばし外の喧騒を忘れさせてくれる画室です。

(次号は馬込特別出張所です)

☆所在地 大田区中央4-2-1  
電話03(3772)0680

☆会館時間 午前9時～午後4時30分  
(入館は午後4時まで)

☆休館日 月曜日(休日のときは翌日)  
年末年始(12/28～1/3)

☆特別整理期間

☆ご注意 駐車場はありません。  
画室見学は記念館で受付を。  
館の都合により見学できない場合もあります。

## 俳句

南馬込一日越 涼  
見るならば荒ぶる海と曼珠沙華

南馬込一 加藤 正尚  
墓洗ひ終へてつぶやく暮らし向き

南馬込一 森岡 達吾  
見渡せるかきりの稲田花さきぬ

つゆ草会 伊藤 俊子  
手花火の蠟燭風の来ぬところ

つゆ草会 兵藤 芳子  
瀬を登る鮎む網や日暮れどき

池上俳句研究会 清子  
囁りを小耳につみて露天風呂

池上俳句研究会 甫  
励まされ百人百趣に参加せり

和泉会 伊藤寿美恵  
四十八年悔いなく日々を重ねきて

和泉会 伊藤寿美恵  
心しづかに瀬の音を聞く

南馬込一 田中 清子  
親の背をながめて育つ娘見て

南馬込三 鈴木 幽峰  
われふり返りほほの紅らむ

川柳  
課題「店」 川柳遊芳会

ゲーム場場からは泳ぎに気もそぞろ  
。金魚捌い杖ぬれた気がつかず  
。色紙で染めた水売るオマゴト

。時世には勝てず老舗も会社制

## ◆交通事故

人身事故が池上警察署管内で毎日一、二件必ずあり、被害者の内半数以上が60才以上20才以下です。

## 情報往来

◆「どれほ」  
馬込地区、あきすが多発、一件もつかまっていな。御用心!!

◆「火災」  
六、七月 馬込管内一件もなし。

◎馬込の坂への御投稿  
◆臼田坂(当時のバス車掌さん) 前略、その節はあの長い坂を押し

ていただき有難うございました。  
坂を上りきつて「車掌さんお金

払うのかい?」と言われ新米だつた私は「すみません」と言つて料金

をちようだいしました。  
運転手も当時は歩合制でした。

◆無名坂  
◎特別出張所わきから  
目塚中へ至る坂

「くじら坂」  
「くじら背坂」  
◎熊谷恒子記念館前の坂

ではどうでしょうか。  
◎東馬込の勝田さん、当時のバスの

運転手が歩合制とは知りません  
◎南馬込の村上さん、目塚中への

坂はたしかに鯨の背のようです。  
◎南馬込の森岡さん、前号御投稿

の俳句を間違つて短歌の欄にのせてしまいました。誠に申しわけあ

りません。おわび申し上げます。  
◎御投稿をありがとうございます。

